



中野にぎわいフェスタで 市をPR

中野まつり等参加実行委員会は5月10、11日の両日、東京都中野区で開催された「中野にぎわいフェスタ 2025 春」に参加しました。田村市と中野区の交流は、昭和57年の旧常葉町から続くもので、現在も相互交流を深めています。

会場では、ホップジャパンのクラブトビール、ハム工房都路のフランクフルトを販売し、多くの来場者でにぎわいました。また、田村市産米のプレゼントやパンフレットの配布を行い、市の観光をPRしました。



第1回、第2回 たむらチャレンジ塾

5月10日、31日、市役所で、小学5・6年生の希望者を対象に算数・国語・英語の学力アップを目的とした「たむらチャレンジ塾」を開催しました。全5回開催予定で第1回には19人、第2回には25人が参加しました。算数では虫食い算やきまりを発見して計算する問題を、国語は読解力を高める問題を、英語はリスニングの問題を解きました。第3回は7月30日(水)に開催予定です。



toto 助成金活用 アスレチックタイマーを設置

独立行政法人日本スポーツ振興センターの7年度スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用して、市陸上競技場にアスレチックタイマーを設置しました。この装置は、スタート信号器や写真判定装置と連動した経過タイム・記録を表示する競技用の表示盤です。レースの興奮と競技場内の盛り上がり演出します。

市陸上競技場は、全天候型トラックに加え、天然芝のフィールドを備えた施設です。各種競技の練習や大会はもちろん、市民の皆さまにご利用いただけます。

市職員を募集

あなたのアイデアが社会を変える力になる。 市職員採用候補者試験

市は、職員採用候補者試験を実施します。採用に関する情報や先輩職員のインタビューなどを市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

- 試験区分 高校卒程度
- 職種 一般行政職
- 採用予定人数 2人程度
- 受験資格

平成16年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた方(大卒者または令和8年3月までに大学を卒業見込みの方を除く)

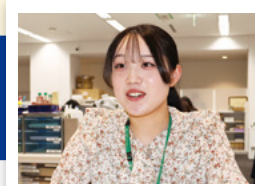
- 第1次試験 9月21日(日)会場:市役所
- 申込受付期間 8月1日(金)～22日(金)午後5時
- 申込方法

- その他
- 市ホームページから申込書を入手し、必要事項を記入して総務課に持参または郵送してください。

問・申総務部 総務課 ☎81-2111



市職員インタビュー！ 【高校卒程度】市民課 主事



①入庁した理由を教えてください。

生まれ育った田村市に貢献したいと思い入庁しました。田村市の皆さんは温かく思いやりある方々ばかりで、そんな方たちに今まで支えられ、成長してきました。「これからは私が田村市の皆さんの力になりたい」という思いから田村市役所で働くことを目指しました。

②現在の仕事内容と、その仕事の面白さや難しさを教えてください。

主にマイナンバー関係を担当しています。健康保険証や運転免許証一体化制度などによるマイナンバー普及に伴い、窓口に来庁するお客さんも増えつつあります。「マイナンバーを管理する」という責任のある仕事ですが、市民の方々と直接関わる機会も多いため、人柄の良さを肌で感じることができるのが、日々の業務の励みになっています。

③働く環境面の魅力をお聞かせください。

トレーナー・メンター制度があるところです。入庁当初、慣れない職場環境で馴染めるか不安でしたが、業務のサポートをしてくださるトレーナーや親身に相談に乗ってくださるメンターにとても助けられました。入庁したばかりの方でも安心して働けるような職場体制が備わっているところも田村市役所の魅力の一つだと思います。

④職場の雰囲気をお聞かせください。

職員同士仲が良く活気にあふれた職場です。特に私の所属している市民課は同年代の若者が多く、休憩時間にコミュニケーションをとるなど、職場内でも気軽に話せるような明るく元気な人たちがたくさんいます。職員同士の交流が多く、職場だけではなくプライベートも充実させることができます。



昆虫の聖地協議会総会

5月21日、全国14自治体および4民間団体が加入する昆虫の聖地協議会(会長:田村市長)が、大阪大学で総会を開催しました。

昆虫や里山保全に関する認識を深め、昆虫を活用した地域振興について考えました。総会後には、昆虫ハンターの牧田習さん、大阪大学の吉田裕介先生を講師に迎え、特別講演会を開催しました。



東京都中野区 花と緑の祭典で市をPR

中野まつり等参加実行委員会は5月17、18日の両日、中野区で開催された「花と緑の祭典 2025 春」に参加しました。会場では、イワナの塩焼きやカブトン大判焼き、エゴマコロツク、新鮮野菜を販売しました。

このほか、カブトムシの幼虫販売や木工教室も行い、多くのお客さまでにぎわいました。また、田村市産米のプレゼントやパンフレットの配布を行い、市の観光PRを行いました。



株式会社トヨトミと 災害協力協定

5月16日、市と株式会社トヨトミは、災害発生時における被災者への応急生活物資の供給を迅速かつ、円滑に行うことを目的として、市役所で災害協定を締結しました。協定では、災害時における応急生活物資の品目について確認しました。

株式会社トヨトミが自治体と協力協定を結ぶのは2例目で、福島県内では初めてです。

A 48歳で8段に合格しました。範士の審査資格は、8段昇段から

Q 範士までの道のりを教えてください。

A 父親の教えで剣道を始めました。船引高卒業後、陸上自衛隊に入隊し、東北方面剣道訓練隊の監督兼教官を務めてきました。任務の傍ら、1995(平成7)年のふくしま国体成年2部の大将を務め、団体優勝を決める勝利を挙げました。現在は春風館で、約60人の門下生を指導しています。

Q 石井さんのこれまでの経歴を教えてください。

A 父親の教えで剣道を始めました。船引高卒業後、陸上自衛隊に入隊し、東北方面剣道訓練隊の監督兼教官を務めてきました。任務の傍ら、1995(平成7)年のふくしま国体成年2部の大将を務め、団体優勝を決める勝利を挙げました。現在は春風館で、約60人の門下生を指導しています。

Q 範士に合格した今の気持ちを教えてください。

A 最高位として恥ずかしいことはできないという思いです。これからもっと自分を律して、後進の育成をはじめ、剣道界の普及に努めます。



石井 勝義さん

県内外の各分野で活躍している田村市出身者を紹介するコーナー
田村市船引町の剣道場「春風館」館長で、福島県剣道連盟副会長の石井勝義さん(70)が5月6日、剣道界の最高位「範士」に合格しました。石井さんに合格の喜びや、自身が描く夢を伺いました。



Q 自身が描く夢、田村市民へのメッセージをお願いします。

A これからも素直に一生懸命、努力を重ねます。市民の皆さんも「至誠通天」を胸に、一緒に頑張っていきましょう。